



現行の防災気象情報とこれまでの避難情報(概要)

警戒レベル
相当情報

◆情報の内容
河川水位や雨の情報
◆発表者
気象庁や県が発表

警戒レベル
情報

◆情報の内容
避難情報
◆発表者
市区町村

警戒レベル相当情報 ※		
	浸水の情報	土砂災害の情報
5 相当	氾濫発生情報 大雨特別警報 (浸水害)	大雨特別警報 (土砂災害)
4 相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報 土砂災害メッシュ情報 (非常に・極めて危険)
3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報 (土砂災害) 土砂災害メッシュ情報 (警戒)
2 相当	氾濫注意情報 洪水注意報	大雨注意報
1 相当		早期注意情報

警戒 レベル	住民が とるべき行動	町の対応
5	命を守る最善の行動	災害発生情報
4	危険な場所から全員避難	避難指示(緊急) 避難勧告
3	危険な場所から 高齢者などは避難	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	ハザードマップ等で 避難行動を確認	防災体制
1	災害への心構えを高める	最新情報に注意 職員連絡体制の確認

※ 警戒レベル相当情報に関する見直し・修正なし。



避難情報の改善の概要

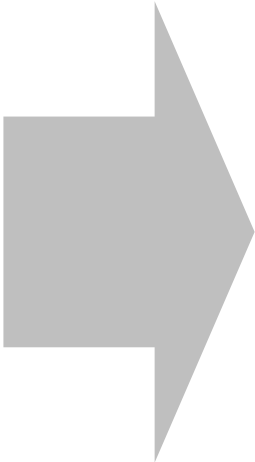
現行の避難情報

警戒 レベル	住民が とるべき行動	町の対応
5	命を守る最善の行動	災害発生情報
4	危険な場所から 全員避難	避難指示（緊急） 避難勧告
3	危険な場所から 高齢者などは避難	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	ハザードマップ等で 避難行動を確認	防災体制
1	災害への心構えを 高める	最新情報に注意 職員連絡体制の確認

新たな避難情報※

※ 2021年度5月20日から運用開始

住民が とるべき行動	町の対応
命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保
危険な場所から 全員避難	避難指示
危険な場所から 高齢者などは避難	高齢者等避難
ハザードマップ等で 避難行動を確認	防災体制
災害への心構えを 高める	最新情報に注意 職員連絡体制の確認



現行の避難情報の問題点等	改善に係る処置
◆ 警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」は名称が長くわかりにくい。 ◆ 一般の人に求める「避難準備」から名称が始まるため、高齢者等に避難を求める情報であることが伝わりにくい。	◇ 早期の避難を促す対象を明確にするため、「 高齢者等避難 」に見直し。 ◇ 高齢者以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせはじめたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングとする。
◆ 警戒レベル4「避難勧告」で避難せず被災する人が多い。 ⇒① 「避難勧告」、「避難指示（緊急）」の意味の違いが理解されていない。 ② 「避難勧告」、「避難指示（緊急）」の両方が位置づけられ、わかりにくい。	◇ 避難のタイミングを明確にするため、名称を「 避難指示 」に一本化（発令のタイミングは現行の避難勧告で） ◇ 警戒レベル4「 避難指示 」で避難を完了するように求める。
◆ 警戒レベル5「災害発生情報」は、住民がとるべき行動が分かりにくい。 ◆ 市町村が災害の発生を把握できず発令できないことが多く、有効に機能していない。	◇ 災害が発生・切迫し、警戒レベル4での避難場所等への避難が安全にできない場合に、自宅や近隣の建物などで緊急的に安全確保するよう促す情報を「 緊急安全確保 」として位置づける。